

報告書

行先	大分県臼杵市
テーマ	人口減少における「地域づくり」の取り組みについて
期日	令和7年2月13日
報告者	中島信二

概要

面積 291.08k㎡
 人口 35,620人 (合併時 45,610人)
 世帯 16,925世帯 (合併時 16,804世帯) (令和6年1月1日時点)
 高齢化率 41.93% (合併時 28.33%) (合併時平成17年1月)

臼杵市の特徴として ① 豊かな食文化 ② 伝統的「地域活動」
 ③ 充実した「子育て環境」 ④ 安心の「医療」である。
 ①についてはエネスコ創造都市ネットワーク(食文化分野)加盟認定された。当市の培ってきた、発酵・醸造文化や有機農業の推進などの取り組み世界的にも評価されたものである。②については、地区自治会を中心に住民が主体となり、地域活動を担う「地域振興協議会」を全ての旧小字校区(18地区)に設立し、少子高齢化、人口減少の進むも世代も立場、団体等の枠を超えて連携して地域の一体感や日常、生活での安心感を作り上げることを目的としている。③については、色々の制度…妊産婦、出生時、子育て支援を充実させている。
 ④については「うすき石仏ネット」(登録者数2万人超え)にて医療、介護支援、IT情報ネットワークがあり、鉄道の少ない安全で質の高い医療、介護サービスが実施されている。
 地域力創生課の創設、地域力振興協議会の活動、あまべお助け会活動ではスマイルバス運行、海岸清掃、道路の倒木伐採、移住、定住支援として、空き家バンク制度、臼杵おためしバスなどがあり、その他に移住希望者に対し、市内企業紹介、就職あて人によるマッチングなど紹介のサービスも行っている。移住定住施策の影響により、子ども数が増えている(+248名)ことが推測される。

所感

特筆するような人口減少に対する施策は少ない。子育て支援策の充実とほかに少子化対策には一番効果のある事を再認識した。

報告書

NO

DATE

行先

大分県豊後高田市

テーマ

豊後高田市の移住・定住施策について

期日

令和7年2月14日

報告者

中島信二

平成17年3月31日合併

旧豊後高田市、真五町、香々地町 合併の19年

概要

人口21716人(令和7年1月31日現在)

高齢化率38.1%

当市の最重要施策…人口増と新たな観光振興のため

“地域の強力は人”

①子育て(やすい)「大分県豊後高田市」移住のメリットが凄!!
人口増をはかる上では子育て支援策が最重要と思われるが当市は
全国トップレベルの子育て支援策を実施している。高校生までの医療費が
無料、中学校の給食費無料、子育て支援施設「花のひろ」4ヶ所
整備、市内保育園、幼稚園授業料無料、妊産婦医療費無料、
高校授業料費無償化(R7.国におき無償化となるが…)

子育て支援入学祝い金:1)中高校入学:20万円
高校生までの入塾時の食事代無料、高田高校生に対する昼食
無料提供(準備中)などある。とにかく子育てに困る子育て料
無料である。又、誕生祝い金1.2子10万円、又3子は50万円、4子
100万円、又5子以上は200万円である。又教育面では全国モデルとなる

県内トップレベルの学力である。支えるのが無料の市立塾「学びの21世紀塾」
である。住居施策についても市有地を破格値で売却し、移住者促進を
行っている。主なものは定住促進住宅、新婚住宅支援住宅、空家活用
住宅など。他にも今は先着順で土地を無償提供する施策がある。

令和6年は76人の社会増の人口となっている。

10年連続、住みやすい田舎ベスト30町に入っている。

所感

とにかく子育て支援、住宅支援が凄!!、とりわけ子育て支援策を
もっと拡大し充実してほしい。豊後高田市を見習うべし。